

平成 30 年度  
石垣市教育事務点検評価報告書  
(平成 29 年度事業対象)

平成 30 年 11 月  
石垣市教育委員会

## 石垣市教育事務点検評価報告書の議会への提出及び公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、平成 29 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告します。

### 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 目次

はじめに	1
1 教育委員会の活動	2
平成 29 年度 教育委員会活動状況一覧表	3
平成 29 年度 教育委員会会議開催状況一覧表	4
2 教育事務点検評価	8
平成 30 年度 教育事務（平成 29 年度事業）点検評価結果一覧表	8
スクールバス管理費	9
奨学貸付金事業（償還金滞納整理）	10
学校保健対策費	11
学校維持補修費	12
被災児童生徒就学支援事業	13
気になる子のすこやかな学びを支援する事業	14
「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業	15
情報教育充実事業	16
社会教育学級事業	17
冠鷲プロジェクト地域・家庭教育支援事業	18
ユースアドバイザー事業	19
平久保のヤエヤマシタン保護増殖事業	20
登野城遺跡発掘調査事業（67 番地）	21
石垣市史 統計 編集・発刊事業	22
旧大浜町史（仮称）編集事業	23
八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業	24
こども博物館事業	25
調理業務等民間委託業務	26
図書館充実費	27
ブックスタート事業	28
3 外部評価委員による総評	29
<b>【資料】</b>	
平成 29 年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系	31
平成 29 年度 石垣市教育委員会組織機構図	32
石垣市教育事務点検評価実施要綱	33

## はじめに

石垣市教育委員会では、①自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する。②平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な市民を育成する。③学校・家庭・地域社会相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応し得る教育の方途を求め、生涯学習社会の実現を図る。を教育目標に教育行政を推進しています。

その目標を推進する施策として、教育委員会各課等において平成 29 年度に実施した事業の中から 20 事業を選定し、今年度の点検評価を行いました。

評価の方法は、各担当課が事業執行概要等を評価シートとして作成し、教育事務点検評価委員会にて内容等の点検及び内部評価を行い、その後、学識経験者で構成される外部評価委員会による各課ヒアリングを実施し、事業ごとに外部評価を付していただきました。

その結果、外部評価委員から 20 事業中 18 事業が計画通り又は計画以上に執行されているという評価を受けましたが、評価の中身においては、多くの事業で様々なご指摘とご提言をいただいています。

これらの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に反映させるよう努めてまいります。

この報告書は、評価の結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで市民への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

今後とも市民の皆様の教育行政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 石垣市教育委員会教育長及び委員

職名	氏名	任期	備考
教育長	石垣 安志	自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日	
教育長職務代理者	新田 健夫	自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日	
委員	金城 綾子	自 平成 29 年 4 月 1 日 至 平成 33 年 3 月 31 日	
委員	浦内 克雄	自 平成 29 年 12 月 19 日 至 平成 33 年 12 月 18 日	
委員	大道 夏代	自 平成 29 年 12 月 19 日 至 平成 33 年 12 月 18 日	

### 石垣市教育事務点検評価外部評価委員

氏名	備考
小浜 美佐子	人権擁護委員、元石垣市立小学校長
平田 勝男	八重山獣医師会相談役

## 1 教育委員会の活動

### (1) 教育委員会の会議等の状況

石垣市教育委員会においては、教育委員会の会議を毎月1回以上開催し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

教育委員会の会議は、原則として毎月第4金曜日に定例会を、必要に応じて臨時会を開催しています。平成29年度は定例会12回、臨時会2回の計14回の会議を開催しました。

また、沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区市町教育委員会協議会の総会・研修会等に参加し、他市町村の教育委員と意見交換を行い、教育委員会が直面する課題等について情報を共有し、教育行政について研鑽を積むことができました。

### (2) 審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条の規定に基づき、計80件の議案を審議しました。

### (3) その他の活動状況

行事・大会等への参加

- ・管外転入教職員激励会
- ・市立小中学校入学式・卒業式
- ・市立小中学校運動会・学習発表会・研究発表会等
- ・市立小中学校訪問（授業・校内視察及び意見交換）
- ・市立教育研究所入所式・研究成果報告会
- ・石垣市成人式
- ・いしがき教育の日
- ・石垣市生涯学習フェスティバル
- ・石垣市自治公民館研究大会
- ・市主催行事（市制施行記念式典、石垣島まつり、石垣島マラソン等）

平成 29 年度 教育委員会活動状況一覧表

月	会議		その他の活動
	教育委員会	その他	
4月	・定例会		・管外転入教職員激励会 ・各小中学校入学式
5月	・定例会	・八重山地区市町教育委員会協議会全体会（石垣市） ・沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会並びに研修会（豊見城市）	
6月	・定例会		
7月	・定例会	・沖縄県都市教育長協議会（宜野湾市）	・石垣市制施行 70 周年記念式典
8月	・臨時会 ・定例会		
9月	・定例会		
10月	・定例会	・九州都市教育長協議会定期総会並びに研究大会（熊本県八代市） ・沖縄県市町村教育委員会研修会（那覇市） ・沖縄県都市教育長協議会（宮古島市）	・石垣市民大運動会 ・教育研究所入所式
11月	・定例会	・市町村教育委員会研究協議会（第2ブロック）（那覇市）	・石垣島まつり ・学校訪問（川平小中・わかば幼） ・学校訪問（大本小）
12月	・定例会		
1月	・定例会	・八重山地区市町教育委員会協議会全体会及び研修会（石垣市） ・沖縄県都市教育長協議会（うるま市） ・市町村教育委員会委員・教育長研修会（那覇市）	・石垣市成人式 ・学校訪問（八島小・あまかわ幼） ・学校訪問（宮良小・みやなが幼） ・学校訪問（大浜中） ・石垣島マラソン ・学校訪問（伊野田小・いのだ幼）
2月	・定例会		・いしがき教育の日 ・生涯学習フェスティバル
3月	・臨時会 ・定例会		・各小中学校卒業式 ・教育研究所成果報告会・修了式

平成 29 年度 教育委員会会議開催状況一覧表

区分	開催回数	付議件数	主な内容
定例会	12 回	77 件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育に関する基本的な方針に関すること。</li> <li>・規則、規程、要綱等の制定改廃に関すること。</li> <li>・教育委員会事務局、教育機関の人事（幼稚園、小中学校含む）に関すること。</li> <li>・教育予算に関すること。</li> <li>・附属機関等の委員の任命・委嘱に関すること。</li> </ul>
臨時会	2 回	3 件	
計	14 回	80 件	

開催回数	開催日	議案番号	議案名	摘要
第 1 回定例会	4 月 28 日	議案第 1 号	石垣市子ども・若者支援地域協議会設置要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 2 号	石垣市文化財審議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 3 号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市学力底上げ推進支援にかかる支援員派遣事業実施要綱の一部を改正する要綱）	承認
		議案第 4 号	臨時代理の承認を求めることについて（冠鷲プロジェクト地域・家庭支援事業実施要綱の制定について）	承認
		議案第 5 号	臨時代理の承認を求めることについて（平成 29 年度学校歯科医の委嘱内容の一部改正について）	承認
		議案第 6 号	（仮称）大浜町浄水場跡に係る建議書の取り扱いについて	建議書については不採択
第 2 回定例会	5 月 25 日	議案第 7 号	平成 29 年度石垣市一般会計補正予算（第 1 号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 8 号	石垣市史編集委員会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 9 号	教科用図書八重山採択地区協議会への諮問について	承認
		議案第 10 号	教科用図書八重山採択地区協議会委員の選任について	選任
第 3 回定例会	6 月 28 日	議案第 11 号	石垣市立幼稚園保育料に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 12 号	石垣市小学生・中学生教育交流事業実施要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 13 号	平成 28 年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出決算の承認を求めることについて	承認
		議案第 14 号	平成 29 年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算（第 1 号）の承認を求めることについて	承認
		議案第 15 号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱の承認を求めることについて）	承認
		議案第 16 号	臨時代理の承認を求めることについて（学校施設の使用に関する協定の締結について）	承認
第 4 回定例会	7 月 27 日	議案第 17 号	石垣市立学校職員服務規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第 18 号	石垣市県費負担職員出勤簿整理規程の一部を改正する規程について	原案可決

		議案第 19 号	石垣市特別支援教育就学奨励費給付要綱の制定について	原案可決
		議案第 20 号	石垣市被災児童生徒就学援助費給付要綱の制定について	原案可決
		議案第 21 号	石垣市放課後子ども総合プラン策定委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第 22 号	石垣市立学校給食センター調理業務等委託検証委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第 23 号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市立図書館協議会委員の委嘱の承認を求めることについて）	承認
		議案第 24 号	臨時代理の承認を求めることについて（学校施設の使用に関する協定の締結について）	承認
第 5 回臨時会	8 月 8 日	議案第 25 号	平成 30 年度使用小学校教科用図書の採択について	採択
		議案第 26 号	臨時代理の承認を求めることについて（教育委員会事務局・教育機関（学校を含む）人事異動内示の承認を求めることについて）	承認
第 6 回定例会	8 月 24 日	議案第 27 号	石垣市奨学給付金基金条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 28 号	石垣市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 29 号	平成 29 年度石垣市一般会計補正予算（第 3 号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 30 号	石垣市教育事務点検評価委員会外部評価委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
第 7 回定例会	9 月 28 日	議案第 31 号	石垣市奨学給付金基金条例施行規則の制定について	原案可決
		議案第 32 号	石垣市立幼稚園管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 33 号	石垣市学校・家庭・地域の連携協力推進事業合同運営委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第 34 号	平成 30 年度石垣市立幼稚園園児募集基本方針の承認を求めることについて	承認
		議案第 35 号	石垣市立幼稚園・保育所の今後のあり方及び平成 30 年度からの公立施設の移行案について	承認
第 8 回定例会	10 月 26 日	議案第 36 号	石垣市奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 37 号	石垣市立小学校放課後利用可能教室等活用指針策定委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第 38 号	臨時代理の承認を求めることについて（平成 30 年度石垣市認定こども園園児募集基本方針について）	承認
第 9 回定例会	11 月 24 日	議案第 39 号	桃原用昇奨学基金条例の一部を改正する条例の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 40 号	大濱信泉記念館指定管理者の指定に関する議案の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 41 号	平成 29 年度石垣市一般会計補正予算（第 5 号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 42 号	石垣市奨学給付金奨学生選考委員会規程の制定について	原案可決
		議案第 43 号	平成 29 年度石垣市教育事務点検評価報告書（平成 28 年度事業対象）の承認を求めることについて	承認



		議案第 44 号	平成 30 年度石垣市教育委員会人事異動方針の承認を求めることについて	承認
		議案第 45 号	平成 30 年度石垣市教育委員会（幼稚園教諭）人事異動方針の承認を求めることについて	承認
第 10 回 定例会	12 月 22 日	議案第 46 号	桃原用昇奨学給付金規則の制定について	原案可決
		議案第 47 号	桃原用昇奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 48 号	石垣市奨学給付金基金条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 49 号	桃原用昇奨学給付金奨学生選考委員会規程の制定について	原案可決
		議案第 50 号	石垣市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 51 号	石垣市立八重山博物館協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 52 号	平成 29 年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算（第 2 号）の承認を求めることについて	承認
		議案第 53 号	臨時代理の承認を求めることについて（白保小学校校舎新增改築工事（建築）の工事請負契約に係る議案の議会提出）	承認
第 11 回 定例会	1 月 29 日	議案第 54 号	石垣市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第 55 号	石垣市児童生徒の年度末時期の市外派遣に関する補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第 56 号	石垣市社会教育関係団体登録制度に関する要綱の制定について	原案可決
第 12 回 定例会	2 月 23 日	議案第 57 号	石垣市放課後子ども総合プラン統括コーディネーター設置に関する規則の制定について	修正可決
		議案第 58 号	石垣市不登校対策等支援員配置モデル事業実施要綱の制定について	修正可決
		議案第 59 号	石垣市学校・家庭・地域連携協力推進事業実施要綱の制定について	原案可決
		議案第 60 号	石垣市子ども・若者支援地域協議会設置要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 61 号	石垣市青少年街頭指導員に関する要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第 62 号	平成 29 年度石垣市一般会計補正予算（第 6 号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 63 号	平成 30 年度石垣市一般会計予算（教育予算）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第 64 号	平成 30 年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出予算の承認を求めることについて	承認
		議案第 65 号	平成 30 年度石垣市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第 66 号	平成 30 年度教育委員会学校関係職員（幼稚園教諭等）定期人事異動の内示の承認を求めることについて	承認
		議案第 67 号	平成 30 年度県費教職員（管理職を除く）人事異動内申の承認を求めることについて	承認
		議案第 68 号	臨時代理の承認を求めることについて（平成 30 年度県費教職員（管理職）人事異動内申）	承認

第13回臨時会	3月23日	議案第69号	平成30年度教育委員会事務局・教育機関（学校を除く）定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
第14回定例会	3月29日	議案第70号	平成30年度石垣市教育委員会教育主要施策体系の承認を求めることについて	承認
		議案第71号	石垣市公民館設置条例施行規則の全部改正について	原案可決
		議案第72号	石垣市青少年センター教育相談支援員設置に関する規則の制定について	原案可決
		議案第73号	石垣市青少年センター設置条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第74号	石垣市立学校施設の使用に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第75号	石垣市立幼稚園保育料に関する条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第76号	石垣市就学援助医療費実施要綱の制定について	原案可決
		議案第77号	社会教育学級実施委託要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第78号	へき地児童生徒援助費等補助金（医師等派遣事業）の謝金及び旅費に関する要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第79号	学校施設使用に関する協定の締結について（伊野田小学校）	承認
議案第80号	学校施設使用に関する協定の締結について（野底小学校）	承認		

## 2 教育事務点検評価

平成30年度 教育事務（平成29年度事業）点検評価結果一覧表

番号	事業名	新規	沖振交	担当課	内部評価	外部評価	頁
1	スクールバス管理費			総務課	A	A	9
2	奨学貸付金事業（償還金滞納整理）			総務課	S	S	10
3	学校保健対策費			学務課	A	A	11
4	学校維持補修費			学務課	A	A	12
5	被災児童生徒就学支援事業			学務課	A	A	13
6	気になる子のすこやかな学びを支援する事業		○	学校教育課	A	A	14
7	「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業		○	学校教育課	A	A	15
8	情報教育充実事業		○	学校教育課	S	A	16
9	社会教育学級事業			いきいき学び課	A	A	17
10	冠鷲プロジェクト地域・家庭教育支援事業		○	いきいき学び課	A	A	18
11	ユースアドバイザー事業		○	いきいき学び課	A	A	19
12	平久保のヤエヤマシタン保護増殖事業	○		文化財課	A	A	20
13	登野城遺跡発掘調査事業（67番地）	○		文化財課	B	B	21
14	石垣市史 統計 編集・発刊事業			市史編集課	C	C	22
15	旧大浜町史（仮称）編集事業			市史編集課	A	A	23
16	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業		○	博物館	A	A	24
17	こども博物館事業			博物館	A	A	25
18	調理業務等民間委託業務			学校給食センター	A	A	26
19	図書館充実費			図書館	A	A	27
20	ブックスタート事業			図書館	A	A	28

沖振交：沖縄振興一括交付金

評価	内部評価	外部評価
S：計画以上(101%以上)	2事業	1事業
A：計画通り(70～100%)	16事業	17事業
B：ある程度計画通り(50～69%)	1事業	1事業
C：あまりうまくいっていない(30～49%)	1事業	1事業
D：うまくいっていない(29%以下)	0事業	0事業

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	総務課			
事務事業名	スクールバス管理費					
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]				
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実				
【事業概要】						
(1)対象	北部5校の児童生徒					
(2)目的	児童生徒の安心・安全な登下校の確保					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	スクールバスを運行する					
(4)成果目標	老朽化したスクールバスの買い替え(2台)					
(5)根拠法令等	へき地児童生徒援助費等補助金交付要綱					
【事業実績・目標】						
H29年度実績	決算額	17,051 千円		H28年度実績	決算額	5,797 千円
運行委託料…4,560千円 修繕費…437千円 その他経費…898千円 バス購入費…11,156千円 【財源内訳】国庫補助6,000千円 辺地債5,500千円			運行委託料…4,560千円 修繕費…579千円 その他経費…658千円			
◆平成29年度事業実績 29名乗りのマイクロバスを2台購入。 日産シビリアン:平成29年12月19日納車 トヨタコースター:平成30年1月30日納車			H30年度目標	予算額	20,723 千円	
			運行委託料…4,560千円 修繕費…460千円 その他経費…703千円 車庫建替え費用…15,000千円 ◆平成30年度事業計画 車庫建替えを計画している。			
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 早い時期の事業計画書作成、入札の早期執行等により、当初の予定より早く納車することができ、2月上旬に予定されていた車検の費用を削減できた。 現在、車庫が老朽化していることから建替えが急務となっている。スクールバスの安全管理のためにも平成30年度内の建替えが求められる。					S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A					
外部評価	これまでの老朽化したバスに代わり新しいバスを購入したことは、安心・安全の観点からも評価できる。 また、適切でスムーズな入札を行い、当初の計画より早く納車できたことも併せて評価したい。 バスの安全保存のために車庫の建替え事業を今年度実現してもらいたい。					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	総務課			
事務事業名	奨学貸付金事業(償還金滞納整理)					
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]				
	施策項目	(4) 奨学金制度の活用推進				
【事業概要】						
(1)対象	大学、大学院、短大、専門学校及び高等専門学校への進学を希望する者で、学費及び生活費の支弁が困難な者					
(2)目的	修学の意欲と能力を有するにもかかわらず、経済的理由により学資の支弁が困難と認められる者に対し、修学に必要な資金の貸付けを行うことで、将来の石垣市の発展に寄与する人材の育成を図る。また、計画的な償還を促し、将来における奨学金の継続的な事業運営を図る。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	正規の修学期間において、月額50,000円の貸付け(無利息)を行う。 なお、償還については、原則として卒業の1年後から償還を開始し、市奨学金の場合は毎月25,000円を貸付期間の2倍の期間で返還する。桃原用昇奨学金の場合は、10,000円・15,000円・20,000円と段階的に償還額が変動する。どちらの制度も原則の返還期間に4年を加えた期間の範囲内で返還額の変更又は猶予を行うことができる。					
(4)成果目標	制度の積極的な広報による活用促進。また、償還金の滞納整理により円滑な制度運営を図る。					
(5)根拠法令等	石垣市奨学基金条例、石垣市奨学基金条例施行規則、桃原用昇奨学基金条例、桃原用昇奨学基金条例施行規則					
【事業実績・目標】						
H29年度実績	決算額	(歳入) 13,236 千円	H28年度実績	決算額	(歳入) 9,085 千円	
<p>「奨学金滞納整理マニュアル」に基づき、償還が遅延している奨学生あてに催促通知(48件、6月実施)、催促再通知(20件、7月実施)を行い、償還額の向上につなげた。</p> <p>□償還金収納額</p> <p>H25 現年分:5,986千円 滞繰分:306千円 合計:6,292千円</p> <p>H26 現年分:8,930千円 滞繰分:352千円 合計:9,282千円 (前年度比+47.5%)</p> <p>H27 現年分:6,583千円 滞繰分:1,509千円 合計:8,092千円 (前年度比-12.8%)</p> <p>H28 現年分:7,447千円 滞繰分:1,638千円 合計:9,085千円 (前年度比+12.3%)</p> <p>H29 現年分:9,426千円 滞繰分:3,810千円 合計:13,236千円 (前年度比+45.7%)</p>		<p>奨学金の滞納者数が年々増加の一途をたどり、また、滞納整理に関する有効的な手順等も定められていなかった。このことから、奨学金制度を将来にわたって安定的に継続させることを目的に「奨学金滞納整理マニュアル」を策定した。(平成29年3月)</p>				
		H30年度目標	予算額	(歳入) 12,000 千円		
		平成29年度は「奨学金滞納整理マニュアル」に基づく滞納整理により、滞納者の現行の把握が進んだ。平成30年度においても同様の滞納整理を図る。 目標としては、前年度並みの償還額を目標とする。また、悪質な滞納者に対しては、更なる督促及び法的措置について検討する。				
【点検評価】						
区分	評価の説明				評価凡例	
内部評価	<p>【成果・課題等】</p> <p>平成28年度末に策定した「奨学金滞納整理マニュアル」を基に、奨学金の滞納整理及び償還の催促を図り、昨年度までの償還額を大きく上回った。特に滞納繰越分の償還額が大きく伸びている。</p> <p>課題としては、連絡の取れない悪質な滞納者(催促通知の無視等)に対して、更なる督促及び法的措置について検討する必要がある。</p>				S	S: 計画以上 (101%以上)
	外部評価	<p>奨学金制度の継続運用のためには健全な償還が求められる。これまで償還が停滞していたところ、マニュアルを策定し償還額が大幅に上昇したことは評価に値する。今後も、マニュアルに基づく滞納整理を行い、併せて、償還能力に応じた措置等も検討してもらいたい。</p>				A: 計画通り (70~100%)
					B: ある程度 計画通り (50~69%)	
					C: あまりうまく いっていない (30~49%)	
					D: うまくいって いない (29%以下)	

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	学務課		
事務事業名	学校保健対策費				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(3) 健やかな体の育成			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小・中学校に在籍する児童生徒及び石垣市立小・中学校職員				
(2)目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒及び教職員の健康の保持・促進を図るため健康診断を実施する</li> <li>学校薬剤師の指導のもと、学校の衛生管理に努める</li> </ul>				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒、職員の健康診断実施及び学校医・学校歯科医・養護教諭による健康管理に対する指導・助言等</li> <li>学校薬剤師による衛生管理についての指導・助言等</li> </ul>				
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒及び教職員健康診断の円滑な実施</li> <li>児童生徒、教職員の健康管理及び学校衛生環境の維持</li> </ul>				
(5)根拠法令等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校保健安全法 第6条、第13条から第16条</li> <li>学校安全法施行規則 第1条</li> <li>石垣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例 第2条</li> </ul>				
【事業実績・目標】					
H29年度実績	決算額	28,170 千円	H28年度実績	決算額	28,293 千円
○健康診断受診人数 小学校 (内科)3,340人 受診率96.1% (歯科)3,359人 受診率96.6%  中学校 (内科)1,527人 受診率99.2% (歯科)1,527人 受診率99.2%  幼稚園 (内科)591人 受診率 受診率98.1% (歯科)595人 受診率 受診率98.8%  教職員 (小)180人 (中)104人 (計)284人  ○歳出 ・報酬 14,630,910円 ・報償費 1,290,000円 ・手数料 12,099,291円 ・消耗品費 91,800円 ・備品購入費 84,000円			○健康診断受診人数 小学校 (内科)3,461人 受診率99.2% (歯科)3,468人 受診率99.4% 中学校 (内科)1,520人 受診率99.2% (歯科)1,525人 受診率99.2% 幼稚園 (内科)639人 受診率100% (歯科)630人 受診率98.5% 教職員 (小)195人 (中)104人 (計)299人 ○歳出 ・報酬 14,745,130円 ・報償費 1,290,000円 ・手数料 12,138,874円 ・消耗品費 33,980円 ・備品購入費 84,240円		
			H30年度目標	予算額	25,349 千円
			○健康診断受診人数(目標) ※幼稚園の業務は子育て支援課へ事務移管 小学校 (内科)3,517人 受診率100% (歯科)3,517人 受診率100% 中学校 (内科)1,597人 受診率100% (歯科)1,597人 受診率100% 教職員 (小)210人 (中)120人 (計)330人 ○歳出見込 ・報酬 11,405千円 ・報償費 1,650千円 ・手数料 12,277千円 ・消耗品費 17千円		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 事業の実施は円滑に行われているが、飲料水について学校との情報の共有や連携が不十分などところが見られた。学校と連携を深め、よりよい事業の実施ができるよう現在取り組んでいる。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70~100%) B: ある程度 計画通り (50~69%) C: あまりうまく いない (30~49%) D: うまくいって いない (29%以下)
	A				
外部評価	当該事業は、児童生徒や職員の健康保持・促進に重要な役割を担っており、計画通り事業実施できたことは評価できる。ただし、小学校の受診率が他に比べて低いことについては、詳細を確認してもらいたい。 また、当該事業を実施する意味合いから、受診により病気が見つかったケースなど、所管課においても、その把握に努めることなど考えてもらいたい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	学務課			
事務事業名	学校維持補修費					
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実[教育行政の充実]				
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実				
【事業概要】						
(1)対象	市内小中学校					
(2)目的	市内には、小学校20校、中学校9校あり、施設の運用に必要な修繕を実施する。 (※併置校は4校あり、学校施設としては25施設)					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	学校側から、施設の不具合があった場合、修繕依頼を提出してもらい、修繕箇所の把握に努める。					
(4)成果目標	依頼された修繕事項については、緊急を要するものについては、速やかに対応し、その他の事項については、予算の範囲内において、対応する。					
(5)根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第21条第1項第2号					
【事業実績・目標】						
H29年度実績	決算額	6,899 千円	H28年度実績	決算額	5,865 千円	
事業実績としては、下記内訳となる。 <input type="checkbox"/> 小学校維持補修費(4,278千円) 照明ランプ等消耗品費 418千円 電気設備、給水設備等修繕費3,766千円 ベニア材、砂等原材料費94千円  <input type="checkbox"/> 中学校維持補修費(2,621千円) 照明ランプ等消耗品費 324千円 電気設備、給水設備等修繕費 2,170千円 重機等使用料及び賃借料 38千円 ベニア材、砂等原材料費 89千円  以上により、学校施設の維持補修を実施し、施設の円滑な運用に努めた。			<input type="checkbox"/> 小学校は3,283千円 <input type="checkbox"/> 中学校は2,582千円 以上により、学校施設の維持補修を実施し、施設の円滑な運用に努めた。			
			H30年度目標	予算額	6,893 千円	
			本年度は、下記内訳となる <input type="checkbox"/> 小学校は4,290千円 <input type="checkbox"/> 中学校は2,603千円 以上予算範囲内で、維持補修を実施し、施設の円滑な運用に努める。			
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 緊急を要する修繕については、速やかに対応している。その他の修繕については、予算の範囲内で実施している。 しかし、大規模な改修を必要としている施設など多くの修繕があることから、引き続き、その予算確保に努めていく。					S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A					
外部評価	事業実績としては、予算の範囲内において執行されており評価できるが、実際には本来対応すべき維持補修等が、予算の関係上、大部分対応し切れていない。 このことは、子供たちの安心・安全の観点から早急に対応されるべきであり、今後は、市全体で財源等の捻出を考えてもらいたい。 また、本市の学校のブロック塀の点検修理等も実施してほしい。					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	学務課			
事務事業名	被災児童生徒就学支援事業					
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]				
	施策項目					
【事業概要】						
(1)対象	東日本大震災及び熊本地震により被災又は原子力災害により避難している児童生徒の保護者					
(2)目的	被災により避難してきた児童生徒の保護者に対し、諸経費の一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	補助対象費目(学用品費、医療費及び学校給食費など)を、保護者へ給付する。					
(4)成果目標	経済的に困窮している児童生徒の保護者負担を軽減し、義務教育就学の保障をする。					
(5)根拠法令等	石垣市被災児童生徒就学援助給付要綱					
【事業実績・目標】						
H29年度実績	決算額	45 千円	H28年度実績	決算額	138 千円	
対象人数:小学校1名、中学校1名、計2名 (8月に県外転出) 支給額:44,309円			対象人数:小学校1名、中学校1名、計2名 支給額:137,520円			
			H30年度目標	予算額	202 千円	
			対象人数:小学校2名、中学校1名、計3名 支給額:202,000円			
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 ・震災当初に比べ対象者は減少しているが、事業は円滑に実施されている。 ・就学援助の案内に合わせ、被災児童生徒の支援事業についても引き続き周知広報に務めていく。					S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	A					
外部評価	申請に基づく諸経費等の援助については、適切に対応できていると評価する。 今後も対象者へより周知できるよう、その手法等を考えてもらいたい。 また、同事業とは別に、全国各地で災害が多発しているため、全国各地の被災地へ「教職員・ボランティア体験」も長期休暇等に行ってほしい。					
	A					



事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	気になる子のすこやかな学びを支援する事業				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(5) 特別支援教育の充実			
【事業概要】					
(1)対象	市立幼稚園・認定こども園・市立小中学校に在籍する幼児児童生徒及び保護者				
(2)目的	特別に支援を要する幼児児童生徒に個別に対応し、専門的立場から支援するために臨床心理士、子育て相談員を雇用し、必要に応じて各幼稚園及び各学校に派遣し、発達支援を必要とする乳幼児・児童生徒を抱える者の育児不安軽減を図るため、教育相談や子育て相談等を行う。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	○障がいのある幼児児童生徒の早期支援に当たるため、臨床心理士による巡回相談、心理検査等の計画的実施や相談者への継続的な支援を実施する。また、事後アンケートや振り返りシート等から相談に対する感想や満足度に対する評価・対応、関係機関と連携した取組を強化する。 ○目標としている子育て相談件数については、保護者が子育てについて相談しやすい環境づくりや担当園との更なる構築へ向け取組の充実を図る。				
(4)成果目標	○子育て相談員による「子育て相談」件数200件 地域交流子育て事業の周知徹底を図るため、リーフレットや事前アンケートを配布。相談後、育児・発達等に対する不安が軽減されたか保護者へのアンケート及び振り返りを行う。 ○教育相談・検査、就学支援100件 相談に対する手立て、不安解消軽減等アンケート・評価を行う。				
(5)根拠法令等	石垣市臨床心理士の勤務条件等に関する要綱				
【事業実績・目標】					
H29年度実績	決算額	14,432 千円	H28年度実績	決算額	14,558 千円
<input type="checkbox"/> 臨床心理士(1名) <input type="checkbox"/> 教育相談の実施 ・巡回相談 55件 ・心理検査 33件 ・就学支援 80件 <input type="checkbox"/> 子育て相談員(5名) ・相談件数 152件			<input type="checkbox"/> 臨床心理士(1名) <input type="checkbox"/> 教育相談の実施 ・巡回相談 27件 ・心理検査 15件 ・就学支援 80件 <input type="checkbox"/> 子育て相談員(5名) ・相談件数 176件		
	H30年度目標	予算額		12,549 千円	
		<input type="checkbox"/> 臨床心理士(1名) <input type="checkbox"/> 教育相談・検査件数 100件 臨床心理士による巡回相談並びに心理検査の実施 事前・事後アンケート、保護者アンケートの実施 <input type="checkbox"/> 地域子育て相談員(5名)による相談件数 200件 周知徹底のためのリーフレットの作成 事前・事後アンケート、保護者アンケート等の実施			
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> ○臨床心理士2名、子育て相談員5名を雇用し、本事業を実施する予定であったが、臨床心理士については、5月から1名の雇用に留まっている。 ○市の就学支援委員として申請にあがった幼児児童生徒の発達検査を実施し、専門的立場からの見立てや助言ができています。 ○子育て相談では、全保護者対象にリーフレットや事前アンケートを配布したことで、相談件数が24件増え育児に対する不安解消が図られた。しかし、訪問回数が少なかつたこともあり目標の相談件数には至っていない。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	変化の多い現代、臨床心理士による、気になる子供たちへのケアは非常に大事な部分であり、これを計画的に実施できたことは評価できる。 しかし、臨床心理士2名雇用の予定が1名にとどまったのは残念である。 今後は長期的な目で見、確保が困難な臨床心理士等の職種について、高等学校と連携し人材育成などの環境づくりが望まれる。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	学校教育課
事務事業名	「学ぶ意欲・わかる授業」を推進する事業		
施策体系	主要施策	2 自ら学習意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実] 3 多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進[国際社会、情報化社会等への対応]	
	施策項目	(2)確かな学力の向上 (1)国際性豊かな人材の育成 (2)国際理解教育・外国語教育の推進 (3)小中学校外国語学習支援員の活用	
【事業概要】			
(1)対象	市立小学校・中学校に在籍する児童・生徒		
(2)目的	本市児童生徒の学力を向上させるため、個に応じたきめ細かな学習を支援するために学校教育支援員を配置、今後は小学3年生から外国語活動が導入されることに伴い、外国語学習支援員(ALT)の派遣と英語指導力向上研修会の実施、小中学校教諭の指導力、授業力向上のため学力先進地域視察研修及び講師を招聘した教科研修会を実施し、児童生徒の学力向上の強化を図ることを目的とする。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	○学習に遅れがちな児童生徒に、基本的な学習内容を理解させ、個に応じたきめ細かな学習を支援するために学校教育支援員を配置する。 ○小学5・6年生による外国語活動が必修科目になること、小学3、4年生に外国語活動が導入されることに伴い、外国語教育の充実を図るため、中学校と併せて小学校へ外国語学習支援員(ALT)を派遣する。 ○次期学習指導要領が目指す授業実践と学校運営の構築及び教諭の授業力向上を目的とした学力先進地域交流事業を実施する。		
(4)成果目標	○児童・生徒の学習意欲向上 ・i-checkにおいて肯定的な評価をした児童:50%以上 ・i-checkにおいて肯定的な評価をした生徒:50%以上 ○英語授業における児童・生徒の学習意欲向上 ・肯定的な評価をしたALT勤務評価:50%以上		
(5)根拠法令等	○石垣市学ぶ意欲わかる授業を支援する事業実施要綱 ○石垣市学校教育支援員の勤務条件等に関する要綱 ○石垣市立小中学校外国語学習支援員(ALT)の勤務条件等に関する要綱		
【事業実績・目標】			
H29年度実績	決算額	95,345 千円	H28年度実績
			決算額
			100,902 千円
<input type="checkbox"/> 学校教育支援員 33名 <input type="checkbox"/> 外国語学習支援員 5名 <input type="checkbox"/> 学力先進地域交流研修派遣(秋田県・大分県) ・小学校教諭 6名、中学校教諭 7名、指導主事 3名 ・秋田県教育フォーラム参加 ・視察研修(秋田市立中通小学校、秋田市立秋田南中学校) (大分市立金池小学校、大分市立王子中学校、大分市教育委員会、大分県教育委員会) <input type="checkbox"/> 学力先進地域交流研修講師招聘(秋田県) ・招聘教育専門監 4名 ・研修会 4回 <input type="checkbox"/> 英語指導力向上研修会 1回 <input type="checkbox"/> 児童生徒の学習意欲向上 小 78%、中 75% <input type="checkbox"/> 英語授業における児童・生徒の学習意欲向上に関するアンケート調査 肯定的評価 65%		<input type="checkbox"/> 学校教育支援員 35名 <input type="checkbox"/> 外国語学習支援員 5名 <input type="checkbox"/> 学力先進地域交流研修派遣(秋田県) ・小学校教諭 3名、中学校教諭 5名、指導主事 2名 <input type="checkbox"/> 英語指導力向上研修会 1回	
		H30年度目標	予算額
			97,741 千円
		<input type="checkbox"/> 学校教育支援員 33名 <input type="checkbox"/> 外国語学習支援員 6名 <input type="checkbox"/> 学力先進地域交流研修講師招聘(秋田県) ・招聘教育専門監3名 ・研修会3回 <input type="checkbox"/> 英語指導力向上研修会 1回 <input type="checkbox"/> 県到達度調査全体平均正答率 小60%以上、中50%以上 <input type="checkbox"/> アンケート調査 肯定的評価70%以上	
【点検評価】			
区分	評価の説明		評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> ○成果 ・児童・生徒の学習意欲向上について： i-checkにおいて肯定的な評価をした児童50%以上の目標に対し、78%であった。 i-checkにおいて肯定的な評価をした生徒50%以上の目標に対し、75%であった。 ・英語授業における児童・生徒の学習意欲向上について： 肯定的な評価をしたALT勤務評価50%以上の目標に対し、65%であった。 ○課題 ・目標は達成できたが、今後、学校訪問や各種研修会等において授業改善における具体的な取組について提供する必要がある。		S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	A		
外部評価	本市の主たる目標である「学力向上」について、様々な取組をしており、その実績については評価できる。 毎年の全国学力標準テストの結果に一喜一憂するのではなく、同じ問題を2学期に再度行い、本当の理解度を確認してほしい。 また、各校にALTが配置されているが、保護者にも授業を体験させてほしい。		
	A		

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	情報教育充実事業				
施策体系	主要施策	3 多様化、高度化する社会の変化に対応した教育の推進[国際社会・情報化社会等への対応]			
	施策項目	(4) 情報教育の充実			
【事業概要】					
(1)対象	市立小学校・中学校に在籍する児童・生徒				
(2)目的	教育の情報化の推進に伴う「わかる授業」の実現には、学校におけるICT教育環境整備のほか、教員のICTを活用した指導力の向上を図りつつ、授業や教育活動全般にICTを活用できるように支援する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員の計画訪問、要請訪問等を通じて各校内での巡回支援を実施する。 <input type="checkbox"/> 学校ICT支援員によるICT活用に関する教員研修を実施する。 <input type="checkbox"/> 授業におけるICT活用のためデジタル教科書等の教材を整備する。 <input type="checkbox"/> ICTの円滑且つ安定的な活用のため、校内のICT環境整備並びに管理を行う。				
(4)成果目標	<input type="checkbox"/> ICT機器活用率 平均90%以上 <input type="checkbox"/> 授業におけるICT活用に関する児童・生徒の肯定的評価 平均50%以上				
(5)根拠法令等	<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員派遣事業実施要綱 <input type="checkbox"/> 学校ICT支援員の勤務条件等に関する要綱				
【事業実績・目標】					
H29年度実績	決算額	53,773 千円	H28年度実績	決算額	54,809 千円
<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員(4名) ・学校訪問による各種支援業務、ICT活用研修会の実施 ・学校訪問 延べ936回 <input type="checkbox"/> デジタル教科書(中学校9校:英語)整備 <input type="checkbox"/> 問題データベース継続整備(全学校) <input type="checkbox"/> ICT活用定期研修会 8回 <input type="checkbox"/> ICT活用校内研修会派遣 8回 小学校5校、中学校1校、併置校2校 <input type="checkbox"/> ICT機器活用率 94% <input type="checkbox"/> 児童・生徒の肯定的評価 小学校84% 中学校78% <input type="checkbox"/> 電子黒板等整備 27台 <input type="checkbox"/> ICT教育環境整備に関する中央サーバー構築とネットワーク機器等の設置(全校)			<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員(4名) ・学校訪問による各種支援業務、ICT研修会の実施 ・学校訪問 延べ889回 <input type="checkbox"/> デジタル教科書(中学校9校:5教科)整備 <input type="checkbox"/> 問題データベース継続整備(全学校) <input type="checkbox"/> ICT活用校内研修会派遣 13校 <input type="checkbox"/> ICT機器活用率 94%		
			H30年度目標	予算額	16,436 千円
			<input type="checkbox"/> 学校ICT支援員(4名) ・学校訪問による各種支援業務、ICT研修会の実施 <input type="checkbox"/> デジタル教科書(中学校9校:英語)整備 <input type="checkbox"/> 問題データベース継続整備(全学校) <input type="checkbox"/> ICT活用定期研修会 7回 <input type="checkbox"/> ICT機器活用率 90%以上 <input type="checkbox"/> 児童・生徒の肯定的評価 60%以上		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> <input type="checkbox"/> デジタル教科書や学習プリント作成問題データベース等のデジタル教材を計画通り整備した。 <input type="checkbox"/> 普通教室並びに特別支援学級に不足する電子黒板等のICT教育機器を計画どおり整備した。 <input type="checkbox"/> ICT教育環境整備に関する中央サーバーの構築、情報セキュリティ強化の基盤整備を計画どおり実施した。 <input type="checkbox"/> 本年度から、ICT活用定期研修会を概ね計画通り実施した。 <input type="checkbox"/> 学校組織として教育の情報化推進並びに授業におけるICT活用計画への取組みに課題がある。 <input type="checkbox"/> 情報セキュリティ対策に関する学校組織としての取組みや教職員個々の意識向上に課題がある。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70~100%) B: ある程度 計画通り (50~69%) C: あまりうまく いない (30~49%) D: うまくいって いない (29%以下)
	S				
外部評価	市内全校への電子黒板設置は、多角的な授業を展開する観点から、非常に有意義であるが、これを使いこなせる教諭の資質の向上も求められる。ICT支援員を雇用し、計画的に学校と連携をとり、研修等を行っていることは評価できるが、多様なニーズに応えるようICT支援員の増員が望まれる。 また、機材の耐用年数も近いので更新の年次計画を立ててほしい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	社会教育学級事業				
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]			
	施策項目	(1) 社会教育諸学級の開設			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市民で構成し、活動している社会教育団体や文化・サークル団体				
(2)目的	生活の向上や自己の充実を目指す市民に自主学習の場を提供し、生涯学習の振興に資することを目的とし、社会教育学級を開設する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	実施希望団体を、広報いしがき、市ホームページ等で公募し、選考の上、決定する。事業の内容は、各団体にテーマを設定してもらい、そのテーマに沿った講義・実習・見学等の講座実施計画に基づき、市から実施決定団体への委託により実施する。(事業の実施にあたって、いきいき学び課は、適宜、指導・助言を行う。)				
(4)成果目標	平成29年度は4団体への実施委託を目標とする。				
(5)根拠法令等	社会教育法、社会教育学級実施委託要綱				
【事業実績・目標】					
H29年度実績	決算額	340 千円	H28年度実績	決算額	340 千円
(実施状況) 4学級実施(委託料85,000円/学級)			(実施状況) 4学級実施(委託料85,000円/学級)		
①婦人 :白保婦人会…36人・10回講座 (学習内容～食育講演、地域の文化財、伝統芸能等) ②家庭教育 :石垣市レクリエーション協会…36人・8回講座 (学習内容～子育て講話、民話の里巡り、野外炊飯等) ③高齢者 :老人クラブ登野城いやまし会…21人・7回講座 (学習内容～福祉の町づくり、レク、デコパージュ作り等) ④青年 :石垣市青年団協議会…20人・11回講座 (学習内容～地域の伝統行事や芸能、伝統風づくり等)			①婦人:登野城婦人会(20人・10回講座) ②婦人:新川婦人会(25人・7回講座) ③成人:新川字会青少年健全育成部(20人・4回講座) ④成人:女性講座ブルメリア学級(28人・6回講座)		
			H30年度目標	予算額	425 千円
			(実施状況) 5学級実施(委託料85,000円/学級)		
			①婦人:大川婦人会(30人・10回講座 予定) ②高齢者:登野城いやまし会(22人・7回講座 予定) ③高齢者:石老連健康体操クラブ(25人・9回講座 予定) ④成人:大川公民館(20人・7回講座 予定) ⑤家庭教育:テックフォーインシガキ(20人・15回講座 予定)		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題等】				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A	成果目標「実施委託団体数:4団体」 平成29年度社会教育学級の実施委託団体数は、婦人・家庭・高齢者・青年学級の4団体であり、計画通りの実施である。本事業の目的は、市民が自主的に学ぶ場を提供することで、生涯学習の振興に資することから、今後も継続して実施していきたい。			
外部評価	市民へ生涯学習の場を提供することは、自己の意識・資質の向上を図る観点から、非常に重要であり、これを、当初の目標通り実施していることは評価できる。 今後は、時代の変化へも対応するような魅力的な講座等を計画してもらいたい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	冠鷲プロジェクト地域・家庭教育支援事業				
施策体系	主要施策	1 潤いと生きがいのある生涯学習社会の実現[生涯学習の充実]			
	施策項目	(3) 生涯学習関連事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象	市内在住児童				
(2)目的	地域住民の協力による学習支援活動を行い、家庭学習の習慣化を促進し、本市児童の学力向上に資する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	地域のスポーツ少年団父母会、PTA有志、退職教員等の協力を得て、学校の授業終了後から帰宅もしくは部活動が始まるまでの「隙間の時間」や夏季休暇を利用した学習支援活動を行う。				
(4)成果目標	参加児童数 485人以上				
(5)根拠法令等	沖縄振興特別推進市町村交付金交付要綱、冠鷲プロジェクト地域・家庭支援事業実施要綱				
【事業実績・目標】					
H29年度実績	決算額	1,707 千円	H28年度実績	決算額	2,478 千円
<input type="checkbox"/> 実施団体数:スポーツ少年団 10団体 参加人数:267名 その他 5団体 参加人数:146名 合計 15団体 参加人数:413名		<input type="checkbox"/> 実施団体数:スポーツ少年団 12団体 参加人数:288名 その他 4団体 参加人数:169名 合計 16団体 参加人数:457名			
<input type="checkbox"/> 夏休み特別教室の開催 3ヵ所 開催場所 石垣市立図書館、新栄町公民館、平久保小学校		<input type="checkbox"/> 夏休み特別教室の開催 2ヵ所 開催場所 石垣市立図書館、新川小学校		<input type="checkbox"/> 実施団体意見交換会 平成28年12月26日午後7時より	
<input type="checkbox"/> 地域教育懇談会 平成29年8月28日開催				H30年度目標 予算額 千円	
<input type="checkbox"/> 生涯学習フェスティバル 平成30年2月12日				終了	
<input type="checkbox"/> 平成29年度 冠鷲プロジェクト合同閉級式 平成30年3月17日					
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 成果目標「参加児童数 485人」 平成29年度の参加児童は413名で、達成度は85%と目標値をやや下回った。 事業効果等について、適切な広報が行えなかった事が原因であると考えられる。 参加児童の保護者97%が「家庭学習の習慣化に寄与している」と回答しており、継続して参加することで効果が発現することを積極的にアピールする必要がある。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いない (30~49%) D:うまくい っていない (29%以下)
	A				
外部評価	「隙間学習」で学習支援を行い、本市の学力向上につなげていることは評価したい。保護者のアンケートでもそれは伺える。 学力向上は、本市の最重要課題と思われる。学校現場と連携し、多様な人材を活用することで、学力向上を図ることを期待したい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	ユースアドバイザー事業				
施策体系	主要施策	4 地域を誇りにし、大切に思う健全な青少年の育成[青少年の健全育成]			
	施策項目	(5) 子ども若者自立支援の推進			
【事業概要】					
(1)対象	0歳～39歳の石垣市に居住する社会生活を円滑に営む上で困難を有する児童生徒及び若者				
(2)目的	困難を抱える子ども若者や関係者のニーズを的確に把握し、教育、福祉、医療雇用等の専門的機関等へ確実につなぐこと。 義務教育期以降に家庭や社会で孤立する若者を発見し、見守ると同時に適切な時期に適切な支援が行えるよう誘導すること。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	不登校児童生徒に対する支援を含め、義務教育修了後の進路未決定者及びひきこもり等について、相談、登校支援、進路・学習支援、就学・就労支援を行う。 若者及び保護者の支援に係る情報交換・連絡調整及び関係機関等との連携による具体的な支援、並びに調査研究・研修・広報を行う。				
(4)成果目標	ニートやひきこもり等の義務教育修了者の就学・就労。 不登校児童生徒の学校復帰。				
(5)根拠法令等	石垣市青少年センターユースアドバイザー設置に関する規則				
【事業実績・目標】					
H29年度実績	決算額	8,199 千円	H28年度実績	決算額	8,039 千円
<input type="checkbox"/> 受案件数 小学生1、中学生7、高校生3、過卒生8 計19件 <input type="checkbox"/> 支援内容内訳 不登校10、ひきこもり2、ニート5、その他2 <input type="checkbox"/> 今年度終結・継続支援数 就労・就学・学校復帰による終結11、他機関への紹介による終結2、その他の終結3、継続支援3 <input type="checkbox"/> 今年度活動状況 訪問支援124回、通所支援321回、同行支援39回、関係機関調整262回、電話連絡380回、延べ件数1192回			<input type="checkbox"/> 受案件数 小学生4、中学生6、高校生2、過卒生9、保護者1、計22件 <input type="checkbox"/> 支援内容内訳 不登校11、ひきこもり3、ニート5、その他3 <input type="checkbox"/> 今年度終結・継続支援数 就学・学校復帰による終結4、他機関への紹介による終結3、その他の終結7、継続支援8		
			H30年度目標	予算額	8,609 千円
			<input type="checkbox"/> 若者の自立(就労等):4名 <input type="checkbox"/> 児童生徒の学校復帰:3名  <input type="checkbox"/> 子ども若者・支援地域協議会及び関係機関・団体との連携・協力の下、自立支援に取り組む。		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題等】				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A	成果:①中学3年生の生徒で進学しない子ども達を、職場体験等を行い就労に繋げたり、長期にわたりニートだった対象者を就労に繋げることができた。②子ども・若者支援地域協議会を活用し関係機関との連携や役割分担、情報共有等ができるようになった。 課題:①所内での面談時間やルールを明確に決めていなかった為、対象者が支援員に依存するケースがあった。②いまだ接触に至らない長期ひきこもり対象者に対しての、アプローチ方法を検討する。			
外部評価	取り扱いの困難な子ども若者、それぞれに対し、きめ細やかな支援を行っており、時には就職までつなげているケースもあって、非常に評価できる。 また、自殺等への対応は、早いうちに行動することが求められるが、事柄上、なかなか前に進めないもどかしさも感じられる。 今後は、関係機関と十分に連携を行い、粘り強く対応してもらいたい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	文化財課			
事務事業名	平久保のヤエヤマシタン保護増殖事業					
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]				
	施策項目	(3) 指定文化財の維持管理の充実				
【事業概要】						
(1)対象	国指定文化財「平久保のヤエヤマシタン」指定木2本					
(2)目的	国指定天然記念物「平久保のヤエヤマシタン」指定木2本は、樹齢150年を超えるとも言われる老木であり、近年では台風や害虫被害による樹勢の衰退が著しい状態である。前述のことから、指定木の枯死を防ぐために樹勢回復措置を行う。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	業務委託により、樹木医の診断や害虫対策用薬剤散布、土壌改良(施肥)、枯枝の剪定等の実施。					
(4)成果目標	指定木の樹勢回復及び害虫の根絶。 指定木周辺のヤエヤマシタンの実生株本数や位置の把握。					
(5)根拠法令等	文化財保護法、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律					
【事業実績・目標】						
H29年度実績	決算額	3,097 千円	H28年度実績	決算額	0 千円	
<input type="checkbox"/> 調査・診断業務委託 樹木医による診断および周辺実生株の分布状況把握(H29. 7月時点、指定木含め113本確認、分布域の図化及び樹高等の調査の実施)			H30年度目標 予算額 2,856 千円			
<input type="checkbox"/> 害虫駆除等業務委託 指定木を害するタカサゴシロアリの駆除を目的とした薬剤の散布(薬剤散布後、H30年7月現在までシロアリの再発は無し)						
<input type="checkbox"/> 土壌改良等業務委託 指定木を中心とした円周上に有機質堆肥(完熟牛糞堆肥)を投与(実施以後の繁茂期に樹勢回復を確認)			<input type="checkbox"/> 診断業務委託 前年度からの変化等の確認			
<input type="checkbox"/> 枯れ枝の剪定業務委託 病虫害対策のため、樹木医の診断のもと樹冠部の枯損部を切除			<input type="checkbox"/> 害虫駆除等業務委託 今年度はシタンヒメヨコバイ(寄生害虫)を対象とした薬剤散布予定			
			<input type="checkbox"/> 土壌改良等業務委託 前年度に引き続き有機質堆肥の投与			
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 指定木の樹勢回復については一応の成果を得ている。ただし、老木の為、今後も施肥及び害虫対策が必要になるものと思われる。その際の予算(補助金を含めて)確保をどうするかが課題である。なお、指定木周辺には、幼木を含めて百本余のヤエヤマシタンが生育しており、これらを含めた自生種として、天然記念物指定が可能かどうかも課題である。					S: 計画以上(101%以上) A: 計画通り(70~100%) B: ある程度計画通り(50~69%) C: あまりうまくいっていない(30~49%) D: うまくいっていない(29%以下)
	外部評価	このままでは朽ちていく自生のヤエヤマシタン2本に対し、当該事業により一定の樹勢回復を実現させたことは評価できる。 今後も、2本の樹勢回復措置を継続するとともに、周辺の幼木等の取り扱いについても、天然記念物自生地として指定が可能かどうか十分に検討してもらいたい。				
	A					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	文化財課				
事務事業名	登野城遺跡発掘調査事業(67番地)						
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展〔文化の継承・発展〕					
	施策項目	(2) 埋蔵文化財の保存と活用					
【事業概要】							
(1)対象	登野城遺跡						
(2)目的	ホテル建築に伴い登野城遺跡(67番地)の記録保存を実施する。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	発掘調査及び資料整理を実施し報告書としてまとめる。						
(4)成果目標	発掘調査(784㎡)を終了する。						
(5)根拠法令等	文化財保護法						
【事業実績・目標】							
H29年度実績	決算額	7,540 千円	H28年度実績	決算額	千円		
当初事業として予定していなかったが、開発者と取扱いについて協議し、緊急に発掘調査を実施することができた。発掘調査では、地元で製作された土器をはじめ、外から持ち込まれた陶磁器・勾玉などが出土、多数の古墓(埋葬人骨)が確認されるなど、大きな成果が得られている。また、発掘調査は、当初予定の半分392㎡の実施となったが、開発者と事前に調整し、進めることができた。							
			H30年度目標	予算額	2,533 千円		
			平成30年度は、発掘調査392㎡の完了及び出土品の整理を実施する。				
【点検評価】							
区分	評価の説明					評価凡例	
内部評価	【成果・課題等】 15世紀前後の考古遺物が多量に出土しており、集落遺跡であることを補強する資料が増加したことは成果の一つである。また、埋葬人骨が調査面積に比して多く出土したことは住居空間と墓域が近接していることを示す好例となる。平成29年度の発掘調査は単年度で終了する予定であったが、遺物、埋葬人骨が多く出土した為、2ヵ年度にわたる事となった。不測の事態も考慮した発掘調査期間及び発掘調査人員等に余裕をもった事業計画が今後の課題となる。					S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)	
	B						
外部評価	当該発掘では、考古遺物及び埋蔵人骨が多数出土し、歴史を知る上で貴重な資料となった今後とも埋蔵文化財の保存活用を期待したい。 また、市民への「発掘調査の意義」の説明が欲しかった。今後は、現地説明会やこども博物館の事業として、体験学習を計画してもらいたい。						
	B						



事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	市史編集課			
事務事業名	石垣市史 統計 編集・発刊事業					
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]				
	施策項目	(6) 市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供				
【事業概要】						
(1)対象	市民					
(2)目的	過去の石垣・八重山地域の、人口、土地、産業、経済、教育、文化等の統計数値から読み取ることのできる特徴や傾向を記録し、解説することにより、今後の石垣市の発展のための基礎的資料とする。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者へ原稿執筆依頼。</li> <li>・明治期からの「沖縄県統計書」を主な資料とし、その他数値資料を加え石垣、八重山に限定した数値表を作成する。</li> <li>・作成した数値資料をもとに、石垣・八重山各界の歴史的経緯や当時の状況等を解説する。</li> </ul>					
(4)成果目標	『石垣市史 資料編 統計(上)』として発刊。統計数値が表す過去の石垣・八重山の姿を記録し、今後の石垣市の産業、経済、教育等、各分野の発展のための資料として活用してもらおう。					
(5)根拠法令等	石垣市附属機関設置条例 石垣市史編集委員会規則					
【事業実績・目標】						
H29年度実績	決算額	438 千円	H28年度実績	決算額	365 千円	
<input type="checkbox"/> 編集委員会 ・小委員会開催(2回) <input type="checkbox"/> 編集作業 ・全体構成の一部見直しと追加・補正 ・校正 (事業開始年度:平成20年 発刊予定:平成31年度)			<input type="checkbox"/> 編集作業 ・執筆者へ原稿執筆依頼			
			H30年度目標	予算額	568 千円	
			<input type="checkbox"/> 編集委員会 ・小委員会開催 <input type="checkbox"/> 編集作業 ・数値の修正箇所の抽出と訂正 ・校正			
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 平成29年度は、本書の全体構成の見直し、執筆済原稿の校正、未執筆部分の原稿作成や追記を行った。今後、関係する編集委員の意見を踏まえながら、本書編集作業のさらなる工夫が必要である。 本事業は、平成20年度に事業を着手してから10年が経過している。長期にわたって事業が継続されているものの未だ発刊には至っていない。この間、徐々にではあるが、原稿等が整いつつあり、発刊の見通しがたった。引き続き、平成31年度発刊に向けて編集作業を進めていきたい。					S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	C					
外部評価	計画から10年が経過しているが、事業の完了が見えてこない。また、執筆者の高齢化も気になる場所である。発刊目標を早急に決め、執筆者と一緒に頑張ってもらいたい。 執筆者の後継者育成も急務であり、このことが石垣市の歴史をきちんと記し、文化の継承と発展に寄与すると考える。					
	C					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	市史編集課			
事務事業名	旧大浜町史(仮称)編集事業					
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]				
	施策項目	(6) 市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供				
【事業概要】						
(1)対象	市民					
(2)目的	石垣市の行政史上、大きな分岐点であった1964(昭和39)年の大浜町と石垣市合併について、当時の状況を詳しく記録する。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小委員会の開催</li> <li>・有識者に原稿執筆を依頼する。</li> <li>・多数残されている行政資料と新聞資料を主に用い、合併当時の状況を行政面、社会面から記録する。</li> <li>・合併時の関係者の方々から聞き取りを行う。</li> </ul>					
(4)成果目標	『石垣市史』資料編 近代8 大浜町・石垣市合併関係資料集として発刊し、当時の行政・社会状況を記録し、次世代へ継承すると共に、市町村合併の資料としても活用を促す。					
(5)根拠法令等	石垣市附属機関設置条例 石垣市史編集委員会規則					
【事業実績・目標】						
H29年度実績	決算額	2,744 千円	H28年度実績	決算額	172 千円	
<input type="checkbox"/> 編集委員会 ・小委員会開催(4回) <input type="checkbox"/> 発刊手続 ・入札 ・発刊 600冊 <input type="checkbox"/> 広報 ・発刊発表記者会見(市長、教育長、編集委員長) ・広報いしがき掲載 ・市史編集課ホームページ掲載 ・全国各八重山郷友会関係団体へ、販売促進のための広報実施 事業完了 (事業開始年度:平成24年度)			<input type="checkbox"/> 編集委員会 ・小委員会開催(3回) <input type="checkbox"/> 編集作業 ・原稿整理等			
			H30年度目標	予算額	0 千円	
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 本書は、大浜町・石垣市合併50年に当たる平成26年度の発刊予定であったが、編集作業の遅れ等により、平成29年度の発刊となった。当初の発刊計画に変更が生じたことから、今後は、市史編集事業について編集工程、編集方法等の改善が必要である。 本事業は、本書の売れ行きが好調であることから、市民のニーズに即した事業であった。今後は、本書の活用をさらに図るため、あらゆる方策を講じる必要がある。					S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A					
外部評価	石垣市と旧大浜町の合併について、書籍に記すことは、本市の歴史を理解する上でも重要であり、編集作業に難航はあったものの、発刊までこぎつけたことは評価できる。しかし、スケジュール通り発刊できなかったことについては、原因等を検証し、今後の編集・発刊の作業に活かしてもらいたい。					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	博物館			
事務事業名	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業					
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]				
	施策項目	(7) 博物館事業の充実				
【事業概要】						
(1)対象	八重山博物館所蔵資料					
(2)目的	博物館資料の保存・活用を図るため、虫食いや焼け等により劣化のすすんだ歴史・絵画資料や古文書類の修復委託を行い、併せて修復資料のデジタル化を行う。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・博物館所蔵資料の内、劣化が進み保存状態の良い資料を優先的に修復する。</li> <li>・修復委託業者は、修復方法・実績等から検討して決定する。</li> <li>・修復後の資料保存にあたっては、中性紙ボードを使用した保存箱を使用する。</li> </ul>					
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業により、博物館資料を良好な状態で長期保存することが可能となる。</li> <li>・博物館における展示公開・調査・研究等に活用することができる。</li> <li>・市民をはじめとする、研究者等の利用に供することができる。</li> </ul>					
(5)根拠法令等	博物館法、石垣市立八重山博物館設置条例					
【事業実績・目標】						
H29年度実績	決算額	12,000 千円	H28年度実績	決算額	17,024 千円	
委託内容 ①新聞資料修復・・・10件(2,320枚) ②文書修復・・・3点 ③画稿修復・・・3点 (※データCD-R作成まで)			委託内容 ①新聞資料修復・・・20件(4,135枚) ②画稿修復・・・3点 (※データCD-R作成まで)			
			H30年度目標	予算額	6,000 千円	
			委託内容 ①新聞資料修復・・・5件(1,087枚) ②画稿修復・・・2点 (※データCD-R作成まで)			
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 ○修復事業は、年次的な計画を作成し実施している。今後も計画を踏まえつつ、所蔵資料の状態に応じた、より効率的な修復事業を実施していきたい。 ○修復資料等について、保管場所の確保が課題となるため、場所等を確保しながら事業を進める必要がある。 ○修復済資料及びデジタル化した画像等の公開・活用法について検討していきたい。					S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A					
外部評価	八重山の貴重な文化的遺産である博物館所蔵資料を計画的に年次的に修理保存していることは、八重山の文化遺産の保存伝承の上でとても重要なことで評価したい。しかし、年間保存修理の予算が減少しているのは残念である。また、「新博物館」の構想はあると思うが、中長期的な計画をしっかりと立ててほしい。					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	博物館		
事務事業名	こども博物館教室				
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展[文化の継承・発展]			
	施策項目	(7) 博物館事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象	市内小学校5年生				
(2)目的	郷土(石垣市)の歴史・文化・自然を学び、郷土に対する誇りと愛情を高める。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	年間9回の講座を実施。受講生はすべての講座を受講する。①自然観察 ②文化財・史跡めぐり ③八重山の年中行事 ④気象台見学 ⑤植物観察 ⑥篆刻教室 ⑦焼物教室 ⑧野鳥観察 ⑨和紙作り				
(4)成果目標	受講生数40名(定員40名)				
(5)根拠法令等	博物館法 石垣市立八重山博物館設置条例				
【事業実績・目標】					
H29年度実績	決算額	672 千円	H28年度実績	決算額	672 千円
○受講生45名(市内11校)。定員を大幅に上回る申し込みがあったが、会場等のスペースの制約もあり45名まで受け付けた。 ○開講式(5/13) ①自然観察(5/20)※実施予定であったが悪天候により順延したが、順延日も悪天候により結果本年度は中止) ②文化財・史跡めぐり(6/10) ③八重山の年中行事(7/1) ④気象台見学(7/28) ⑤植物観察(9/30) ⑥篆刻教室(11/25) ⑦野鳥観察(12/16) ⑧焼物教室(1/20) ⑨和紙作り(2/17・18) ○修了式(3/10) ○「こども博物館だより」(1～12号)の発行。 ○活動を紹介する「ロビー展」の開催。			○受講生45名 ○年間9回の講座の実施 ○「こども博物館だより」の発行 ○「こども博物館教室記録集」(第34期生)の刊行		
			H30年度目標	予算額	634 千円
			○受講生40名 ○年間9回の講座の実施 ○「こども博物館だより」の発行 ○「こども博物館教室記録集」(第36期生)の刊行 ○「ロビー展」の開催		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> 今年度で36回目の「こども博物館教室」事業である。年9回の講座を実施し、郷土の自然、歴史、文化等について理解を深め、郷土に対する誇りと愛情を高めることを目的とした事業である。毎年定員を上回る申し込みがあり、博物館事業の目玉事業となっている。次世代を担う子どもたちに、本市の文化を知り得ることが肝要であり、継続的に事業を展開していきたい。				S: 計画以上(101%以上) A: 計画通り(70～100%) B: ある程度計画通り(50～69%) C: あまりうまくいっていない(30～49%) D: うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	おおむね年間の計画通り事業は遂行されていると評価する。子供たちが歴史などに触れる良い機会を演出している。 なお、スペース等の問題はあるが、定員を設けず、開催時期などを調整することで、希望する全ての子供たちを受け入れることができないか検討すべきである。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	学校給食センター		
事務事業名	調理業務等民間委託業務				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(4) 食育の推進			
【事業概要】					
(1)対象	給食センターにおける調理業務等作業部門				
(2)目的	国の給食業務の合理化推進及び本市の行政改革大綱に基づき 給食センター調理業務等を民間委託する。併せて正職員と臨時職員との構成比及び労働環境などを見直し、安定して安心安全な学校給食の提供を行う。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	食材の下処理、調理、配缶、配送、回収、洗浄、施設清掃等の作業部門を民間に委託する。献立作成、食材の入札・調達・検収、給食費の管理等は、これまでと同様に、本市が責任を持って行う。 委託業者は、プロポーザル方式により選考審査し選定する。				
(4)成果目標	平成29年9月より、調理業務等民間委託業務を開始する。				
(5)根拠法令等	「学校給食の運営の合理化について」(昭和60年文部省通達)等、「第6次石垣市行政改革大綱」(平成22年6月策定)、「第4次石垣市定員適正化計画」(平成23年制定)等				
【事業実績・目標】					
H29年度実績	決算額	85,864 千円	H28年度実績	決算額	0 千円
4月	・学校給食センター調理業務等委託業者選定委員会 ・委託業者の公募		・「石垣市立学校給食センター調理業務等民間委託基本方針」策定		
5月	・プロポーザル方式により委託業者選定 ・選定内容及び結果の公表		・調理業務等推進検討委員会開催(5回開催) ・民間委託関係課長調整会議(4回開催)		
6月	・委託業者と委託契約内容及び覚書の協議 ・学校給食センター運営委員会へ選定結果の報告		・保護者説明会(2回開催) ・委託事業予定業者等への説明会実施		
8月	・調理業務等民間委託開始 (平成29年度委託期間：8ヶ月)		H30年度目標		
9月	・学校給食開始		予算額	122,202 千円	
11月～3月	・民間委託検証委員会開催(3回開催)		・委託検証委員会開催(2～3回開催)		
12月	・児童生徒・教職員・保護者へ委託評価アンケート実施		(平成30年度委託期間：12ヶ月)		
3月	・各学校へ検証結果報告書及びアンケート結果送付				
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題等】 計画に基づき委託方法等の調査・研究を行い、市民への説明など諸準備を整え、行政手続きと移行業務が円滑に行われた。また、業務委託後には、民間委託検証委員会により、民間委託の検証と評価が行われた。				S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70～100%) B: ある程度 計画通り (50～69%) C: あまりうまく いっていない (30～49%) D: うまくいって いない (29%以下)
	A				
外部評価	市の長年の思いであった学校給食センター調理業務が、民間委託業務に計画的にスムーズに行われたことは高く評価したい。移行後の児童生徒・保護者へのアンケート結果もおおむね良好だということで期待したい。 今後はJA等と協力し石垣島の農産物(郷土食)をもっと活用してほしい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	図書館			
事務事業名	図書館充実費					
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]				
	施策項目	(8) 図書館活動の充実				
【事業概要】						
(1)対象	市民					
(2)目的	住民の知的要求に対応し、幼児からお年寄りまで、全市民が気軽に利用できる図書館を目指す。そのためには市民感覚と生活形態に密着した資料の充実に努めるとともに、職員の資質の向上と市民レファレンスサービスの強化を図る。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における読書推進活動に対し、積極的に取り組む。</li> <li>・移動図書館の活用により、北西部住民の読書環境整備を図る。</li> <li>・子ども読書活動推進計画を基に、だっこDEお話し会や絵本読み聞かせ等を推進する。</li> <li>・他図書館とのネットワークを推進する。</li> </ul>					
(4)成果目標	図書館活動を充実することにより、幅広い年齢層と地域の読書環境を向上させ、その健全な発達を図り市民の教育と文化の発展に寄与する。					
(5)根拠法令等	図書館法					
【事業実績・目標】						
H29年度実績	決算額	30,415 千円	H28年度実績	決算額	30,512 千円	
○職員数 ・再雇用2人・嘱託司書5人・賃金職員4人 ○購入図書 4, 639冊 ・一般書1, 410冊 ・児童書 ・1, 022冊 ・郷土書427冊 ・雑誌1, 736冊 ・AV44冊  ○主な定例事業 ・絵本の読み聞かせ 45回 ・だっこDEお話し会 12回 ・シネマタイム 11回 ・耳学問の会 21回 ・北西部地区移動図書館 23回 ・特別企画 こども読書週間スペシャルお話し会 他数事業			○職員数 ・再雇用2人・嘱託司書4人・賃金職員6人 ○図書購入 4, 690冊 ・一般書1, 415冊 ・児童988冊 ・郷土書491冊 ・雑誌1, 732冊 ・AV64冊 ○定例の事業については、29年度とほぼ同様の事業内容である。			
			H30年度目標	予算額	30,481 千円	
			○職員数 ・再雇用1人・嘱託司書5人・賃金職員4人 ○図書購入については予算が前年度並みであることから、4, 600冊前後と予想されるが、今年度はまちづくり支援基金から300万円を計上し、2, 000冊の児童書の買い替えを予定している。 ○定例事業については、29年度と同様の事業内容である。			
【点検評価】						
区分	評価の説明					評価凡例
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> ・予算のほぼ全てを執行し、事業についても当初計画していた事業内容は全て実施している。 活動目標、成果目標に向けて適正であったと考える。					S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A					
外部評価	市民の知的要求に対応し、幼児から大人まで様々な読書活動計画を実施し推進していることは高く評価したい。 今後は地元の行事(豊年祭やハーリー等)の開催時にその歴史等の講話会を企画するなど、いかに図書館に足を運ばせるか工夫をしてもらいたい。					
	A					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】						
評価年度	平成30年度(平成29年度事業)	主管課	図書館			
事務事業名	ブックスタート事業					
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]				
	施策項目	(7) 子どもの読書活動への支援・家読の推進				
【事業概要】						
(1)対象	3ヶ月・4ヶ月健診児					
(2)目的	乳幼児と絵本の出会いを通して、読書に親しむ子どもの育成につなげる。					
(3)目的達成のための手段(事業内容)	石垣市健康福祉センターで実施している乳幼児健診の待ち時間を利用して、対象乳幼児に絵本の読み聞かせを行い、絵本1冊と、絵本を入れるバッグを贈呈する。					
(4)成果目標	対象となっている 3ヶ月4ヶ月の乳幼児健診児の全員に絵本が行き渡るようにする。					
(5)根拠法令等	「子どもの読書活動の推進に関する法律」等					
【事業実績・目標】						
H29年度実績	決算額	548 千円	H28年度実績	決算額	508 千円	
・絵本を8タイトル用意し、月に1～2回健康福祉センターの乳幼児健診児と保護者に読み聞かせを行い、保護者が選んだ絵本とバッグを持ち帰ってもらった。 ・絵本と一緒に読み聞かせQ&Aや年齢に合った絵本えらびのポイントなどを載せた「はじめての絵本」のリーフレットを作成し、配布した。 ・4月からスタートし、3月までの間、17回開催し523冊の絵本を配布した。			昨年度は16回開催し、580冊の絵本を配布した。			
			H30年度目標	予算額	572 千円	
			今年度は16回の開催と、対象児は602名を予定している。			
【点検評価】						
区分	評価の説明				評価凡例	
内部評価	<b>【成果・課題等】</b> ・ブックスタート事業を知っている親も増え、事業の周知が進んでいるように思える。 ・ブックスタート後には、図書館での読み聞かせやイベントの紹介をして図書館利用の促進に繋がっている。 ・一過性でなく、継続的な乳幼児期における読書環境の整備ができる。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)	
	A					
外部評価	乳幼児を持つ親子に本を提供することは、本との出会いや読書に親しむ環境の一助にもなる。また、この事業は、読み聞かせなど、親子の絆を深めることにも貢献できているものと評価する。 今後は、家で眠っている絵本のリサイクルを考えてほしい。					
	A					

### 3 外部評価委員による総評

小浜 美佐子

平成 30 年度石垣市教育事務点検評価の外部評価委員として委嘱を受け、外部評価を行う機会を得たことに責任の重さを感じています。

今回は平成 29 年度の教育委員会 20 の事業の外部評価を終え所感を入れながら総評を述べたいと思います。

石垣市教育委員会は、「創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の推進」を目標に 7 つの主要施策を掲げ事業は行われています。

はじめに、給食センター調理業務を民間委託に計画的にスムーズに移行できたことは高く評価したい。移行後児童生徒・保護者へのアンケート結果もおおむね良好で、さらに郷土食を取り入れて食育に繋げて欲しい。

次に、博物館事業は、八重山の貴重な文化遺産を計画的に年次的に修復管理していることは、八重山の文化遺産の保存伝承の上で、とても重要なことで評価したい。

しかし、年間保存予算が減少しているのは残念である。また、「こども博物館」の事業は、子ども達が歴史等に触れる良い機会で、今後も継続実施を望む。

図書館事業は、市民の知的欲求に対応し幼児から大人まで様々な読書活動計画を実施していることは高く評価したい。今後は伝統行事の企画展示だけでなく、八重山の伝統的な行事開催に併せて、講話会を企画し、(豊年祭等)由来の伝承を図って欲しい。

さらに、ブックスタート事業は、乳幼児の親子に健診時に本を提供することで、本との出会いや読書に親しむ環境の作りになる良い計画だと思われる。今後も子ども達の読書環境作りに励んでもらいたい。その際に家庭に眠る本のリサイクルも考えてもらいたい。

石垣市史・統計・編集・発刊事業は、大変時間のかかる事業で、今後の石垣市の発展のための基礎的な資料で重要な事業と思われる。しかし、計画から 10 年が経過し事業完了が見えてこない。発刊目標を決め執筆者と共に頑張ってもらいたい。

また、旧大浜町史編集事業は、石垣市の行政史上大きな分岐点である大浜町と石垣市の合併について、詳しく知ることのできる貴重なものである。市民の期待に応えた発刊となっている。今後はさらなる活用を期待したい。

「学力向上」は、本市の最重要課題であり、主たる目標である。教育委員会は「分かる授業・学ぶ授業」を推進するため、支援員の配置・小学校 3 年生から外国語活動の導入に伴い、ALT の配置や学力向上先進校への教師派遣・研修会への講師の招聘等、決め細やかな継続的な取り組みを実施し、その実績は評価したい。

また、奨学金の貸付事業は、将来の石垣市の発展に寄与する人材育成につながる事業である。修学の意欲と能力を有するにもかかわらず、経済的理由で修学困難となることのないように貸付事業を継続して欲しい。今回「奨学金滞納整理マニュアル」を策定し、償還金が大幅に上昇したことは、大いに評価できる。

結びに、今回の教育委員会での各課のヒアリングを通して感じたことは、どの事業も真摯に市民に応えるために工夫を凝らし取り組んでいることである。



外部評価委員として、教育事務点検評価を行う機会を得た。

事務点検評価の対象は、平成 29 年度の 20 事業であった。ヒアリングを通して感じた総評を述べてみたい。

最初に今回の事務点検対象事業が平成 29 年度事業で、すでに予算執行されていることから、外部評価委員の意見がどのように反映されていくのかが、はっきりと見えない部分があるように感じた。

例えば、せっかく事務事業の評価・提言を行っても、今回の評価対象事業が来年の評価対象事業から除外されていたら、その事業の成果がわからない。また、同じように昨年評価した事業が今回の評価対象になっていなかったら、その実績が判明してこない。

膨大な事務量の中から、毎年同じ事業を評価対象にあげるのも困難かと思うが、職員の実績を評価したいので、ヒアリングの時期と対象事業の年度を考慮してほしい。せめて新規事業においては、3 年間は評価対象事業としてあげてほしい。

さて、20 事業の事務点検を行ったが、あらためて「教育委員会の仕事」を垣間見ることができた。児童、生徒の教育指導はもちろんのこと、全市民の「学ぶ意欲を高める事業」が展開されていることに敬意を表したいと思う。

特に、「隙間学習」の支援では、地域と学校が一体となって多様な人材が活用されていることは、評価したい。また、ニート等の若者が本市でも増加傾向にあると思われるので、同世代の「地域の青年会」等を活用し、「若者の夢実現」の応援をしてほしい。

図書館事業、博物館事業等は、本市の未来を担う子どもたち対象の事業であるが、場所、時間等の関係で、参加人数に制限がかかっているのは残念である。来年以降、趣旨を再考し、子どもたちの学ぶ意欲の欲求に応えてほしい。

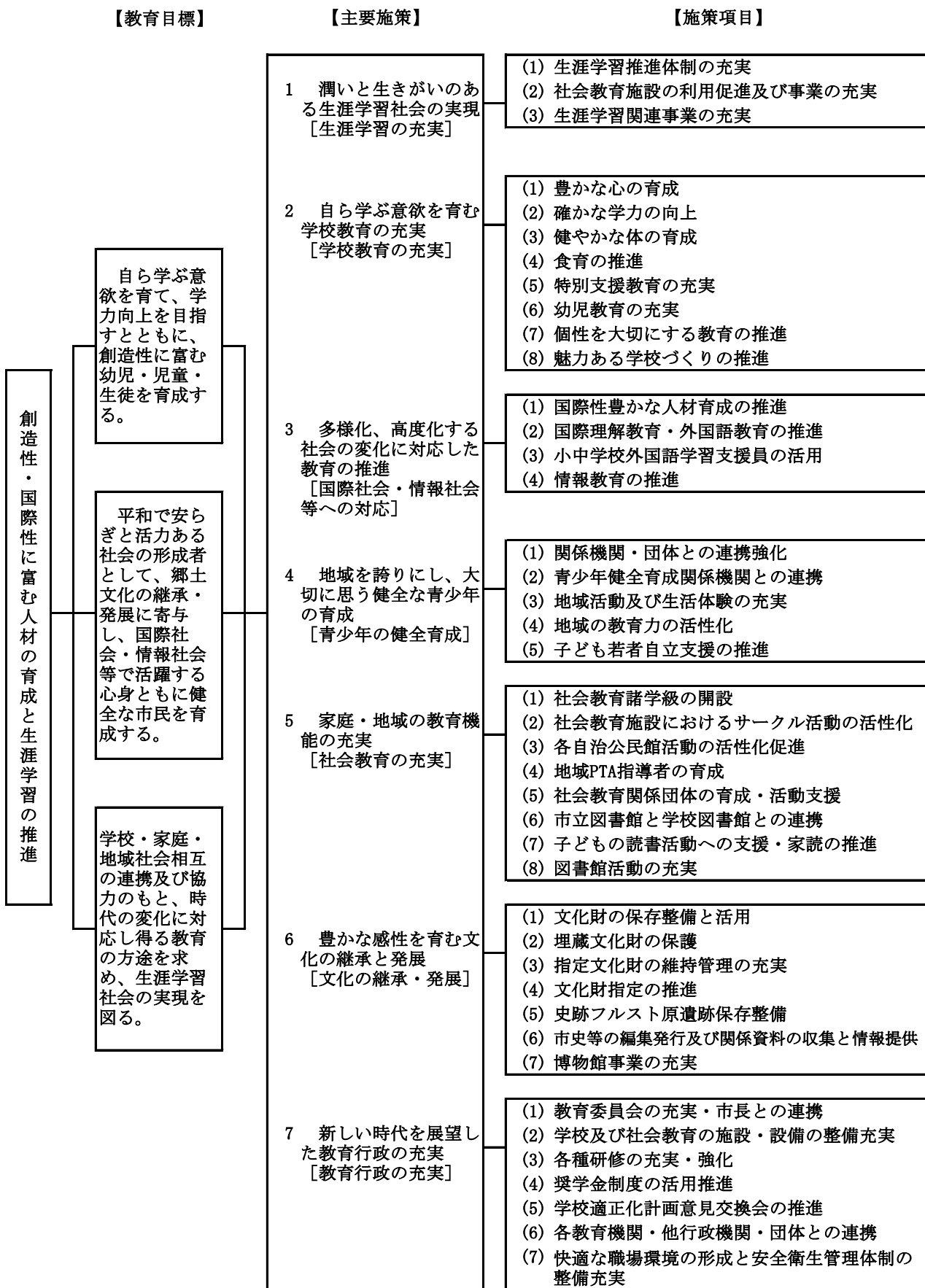
児童生徒や職員の学校保健対策費は、受診率の向上はもちろんのこと、受診の結果を担当課は把握する必要があると考える。それによって、毎年の受診データから地域特性や学校像がみえてくると考えられるからである。

奨学金の償還が若干よくなっているが、利用学生の最初の面談のときに保護者と一緒に「返還の意義」を丁寧に説明したほうが良いと思われる。

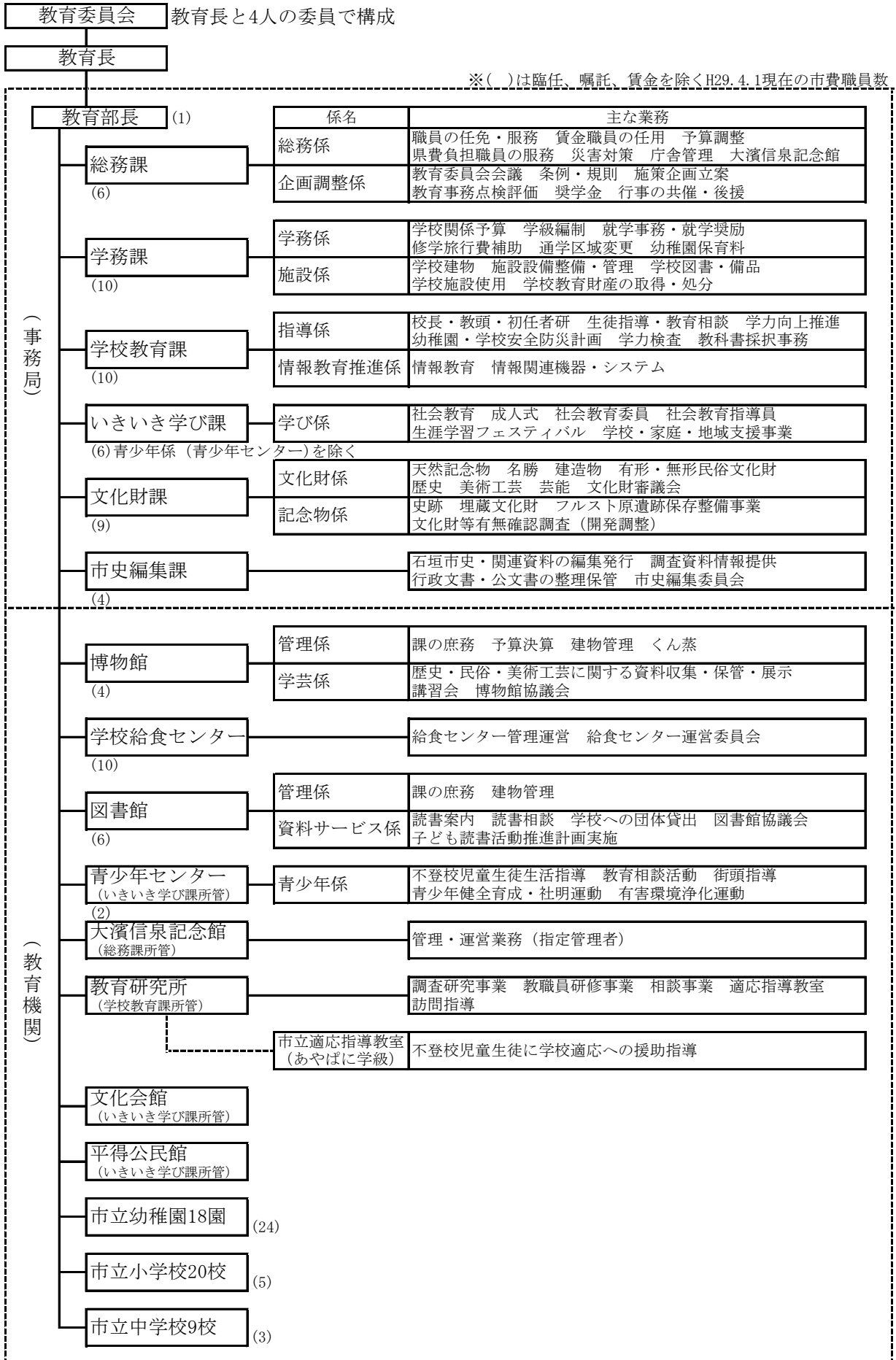
結びに、各課のヒアリングを通して感じたことは、職員が自信を持って教育行政に取り組んでいるように見受けられた。今後も「自然や地域特性を児童生徒に学ばせ、市民には、石垣市に生まれ住んでよかった」と思われる事業を創造していただきたい。

【資料】

平成29年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系



平成29年度 石垣市教育委員会組織機構図



(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことについて必要な事項を定めるものとする。

(教育事務点検評価委員会)

第 2 条 教育事務点検評価は、教育委員会を主体とし、点検及び評価の業務を的確かつ円滑に執行するため、教育事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を置く。

2 点検評価委員会は、教育部長、石垣市教育委員会事務局組織規則(平成 15 年石垣市教育委員会告示第 10 号)第 5 条に定める事務局の課の長、博物館長、学校給食センター所長及び図書館長をもって構成し、委員長に教育部長、副委員長に総務課長をもって充てる。

3 委員長は、点検評価委員会を代表し、その事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その事務を代理する。

5 点検評価委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

(点検及び評価する事務)

第 3 条 教育事務点検評価で点検及び評価する事務は、教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)で、前年度に執行されたもののうちから点検評価委員会が抽出した事務とする。

(点検及び評価の時期)

第 4 条 教育事務点検評価は、前年度決算後速やかに実施するものとする。

(点検及び評価の方法)

第 5 条 教育事務点検評価は、第 3 条の規定により抽出した事務を、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める組織が行うものとする。

(1) 内部評価 点検評価委員会

(2) 外部評価 教育事務点検評価のために置かれる外部評価委員会

(外部評価委員会の設置)

第 6 条 教育委員会は、事務の点検評価に関し、その客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 前項の学識経験を有する者の知見を活用するため、外部評価委員会を設置する。

3 外部評価委員会は、2 人の委員で組織する。

4 外部評価委員は、次に定める者の中から教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) その他教育委員会が必要と認めた者

5 外部評価委員の任期は、委嘱の日から委嘱の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

6 外部評価委員の報酬は、石垣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和47年石垣市条例第70号)別表に掲げる法又は条例による審議会等の委員に委嘱された者の報酬額に準じるものとする。

(報告書の作成)

第7条 教育事務点検評価の結果に関する報告書(以下「報告書」という。)は、点検評価委員会が作成し、前条に規定する外部評価委員会の意見を付して、教育長が教育委員会に付議するものとする。

(報告書の提出及び公表)

第8条 報告書の議会への提出は、12月定例会に行うものとする。

2 報告書は、前項の提出を行った後、速やかに石垣市のインターネットホームページで公表するものとする。

(結果の活用)

第9条 教育事務点検評価の結果は、教育行政の計画立案、事務の改善、効率化等に活用するものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、教育事務点検評価の業務に必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年教委告示第10号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年教委告示第3号)

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年教委告示第18号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年教委告示第5号)

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年教委告示第20号)

この要綱は、公布の日から施行する。

平成 30 年度  
石垣市教育事務点検評価報告書  
(平成 29 年度事業対象)

---

平成 30 年 11 月発行  
石垣市教育委員会  
沖縄県石垣市美崎町 16 番地 6  
TEL 0980-82-2604  
FAX 0980-82-0294

---